



Lesson 5-1 ビルド・アニメーション

keynote-study.com

Keynoteには、スライドに動き（アニメーション）を加える機能があり、設定には2種類あります

【アニメーション解説①】 「ビルド」とは？
テキスト・図形・写真等の「登場や消え方」を個別に設定するアニメーション効果です

【アニメーション解説②】 「トランジション」とは？
次のスライドへ切り替える時に、スライド全体に設定するアニメーション効果です

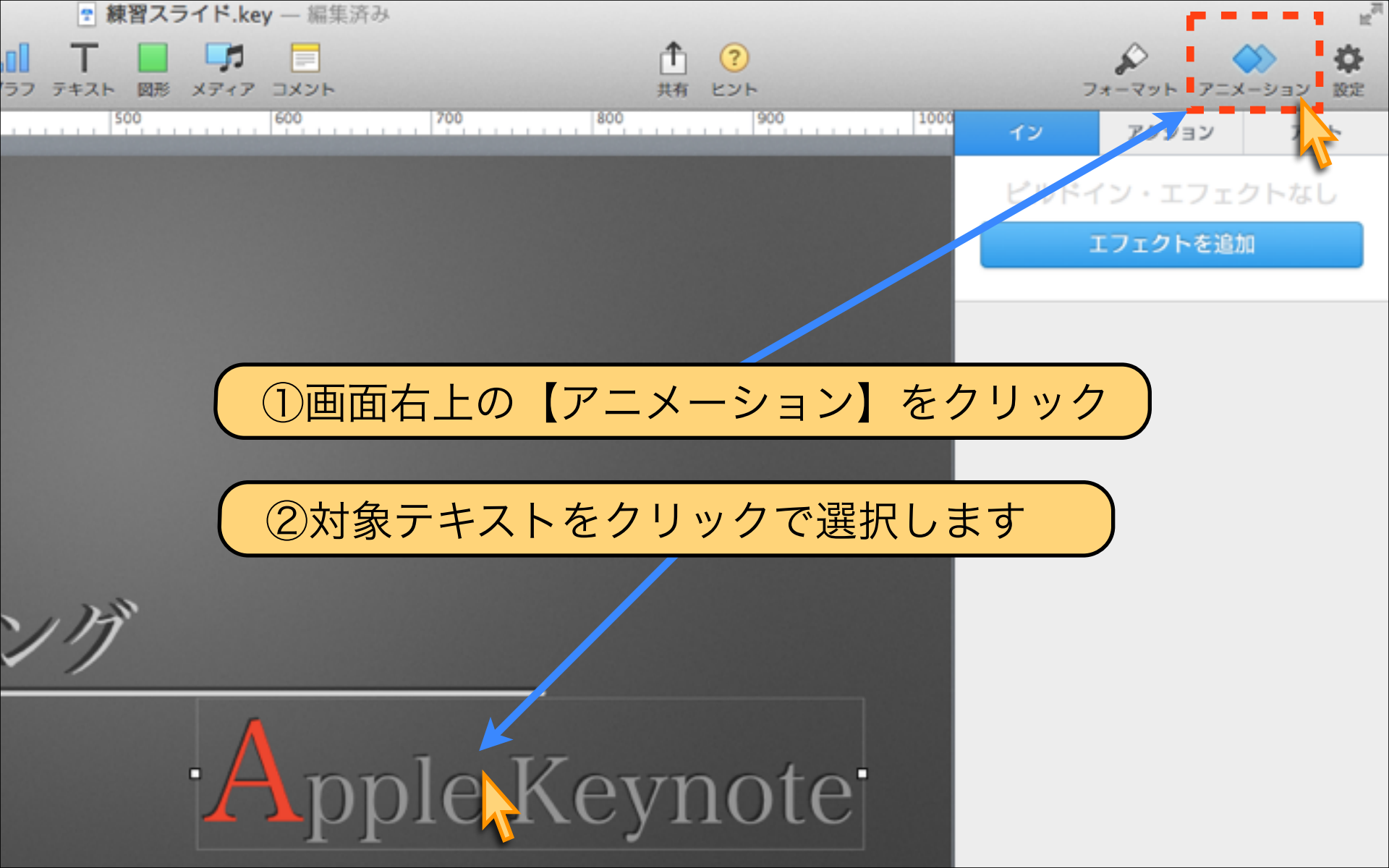


①素材となる「スライドとテキスト」を用意しました

実践トレーニング

Apple Keynote

Keynote-study.com



①画面右上の【アニメーション】をクリック

②対象テキストをクリックで選択します

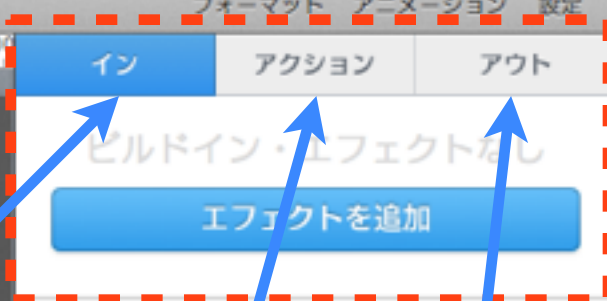
①ビルド・インスペクタが表示されました

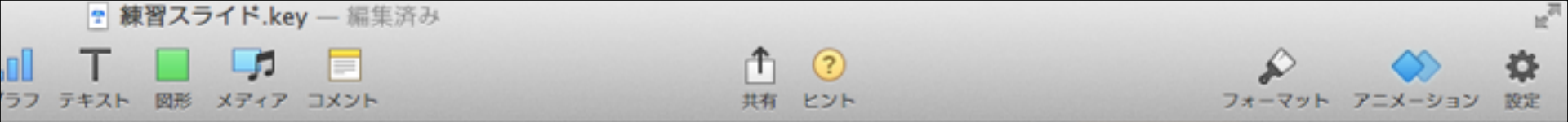
【ビルド設定には、三種類あります】

①【イン】 = 「登場」

②【アクション】 =
「表示中に動きを追加する」

③【アウト】 = 「消え方」





①今回は【イン（登場）】を設定します

②【エフェクトを追加】をクリック

【用語解説】
「エフェクト」とは？
アニメーション（動画）に使用する映像効果のことです



①ビルド・イン【エフェクト一覧】が表示されました

実践トレーニング

Apple Keynote

②好きな【エフェクト】をクリックで選択します

ビルドイン・エフェクトなし

エフェクトを追加

- なし
- 最近使ったエフェクト
- ムーブイン
- ブラインド
- フライイン
- フェードと拡大縮小
- ドリフト
- 出現と移動
- ぼかし
- タイプライター
- ディゾルブ
- ドリフト
- ドロップ
- フェードと拡大縮小
- フライイン
- ムーブイン
- ワイブ
- 出現
- 消滅
- スクロール
- スピン
- キューブ
- スウォッシュ
- スピン
- ツイストと拡大縮小
- ピボット
- ブラインド
- ポップ
- 反転
- 拡大
- 拡大縮小

Apple Keynote

エフェクトを追加

✓ なし

最近使ったエフェクト

ムーブイン

ブラインド

フライイン

フェードと拡大縮小

ドリフト

出現と移動

ぼかし

タイプライター

ディゾルブ

ドリフト

ドロップ

フェードと拡大縮小

フライイン

ムーブイン

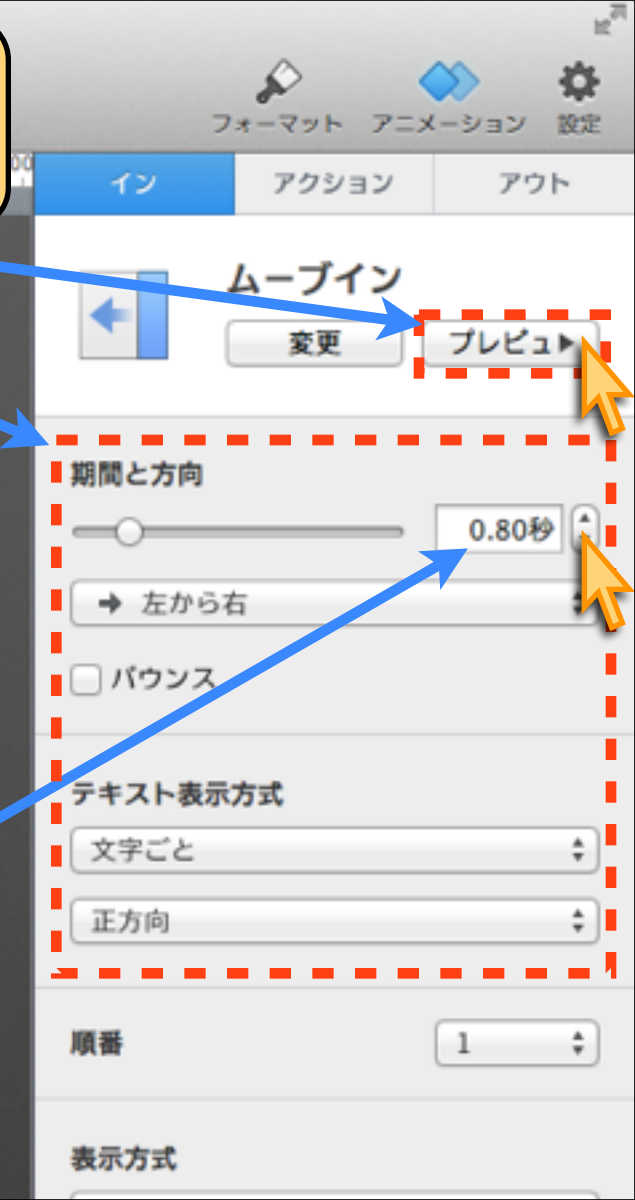
プレビュー

①今回は【ムーブイン】を選択します

① 【プレビュー】 をクリックで
何度でも再生できます

② 【エフェクトの詳細設定】 が可能です
選択したエフェクトによって
設定項目は違います

③今回は「エフェクト継続時間」を
[0.8秒]に設定します



① 【プレビュー】 をクリックして
ビルド・アニメーションが再生されます

実践トレーニング

t o n y A p p l e

【ビルドアニメーション設定のコツ】
エフェクト継続時間の変更で、印象は変わります。
プレビューをクリックして何度も再生しながら調整します

【ビルドの変更と消去】

① 【変更】 をクリックで
「ビルドの変更」と「消去」ができます

② 「設定したビルドの消去」は
選択メニューの【なし】をクリック



【他のテキストや図形にもビルドを追加】

①テキストに「レンズフレア」を設定

実践トレーニング

Apple Keynote

②図形（線）に「レンズフレア」を設定

【POINT】ビルド・アニメーションは、
テキストだけではなく、図形にも設定できます

レンズフレア

変更

プレビュー

期間と方向

1.00秒

← 左から右

順番

2

表示方式

一括

ビルドの順番

【Keynoteの強みはアニメーション①】



PowerPointとKeynoteアニメーションを比較すると
Keynoteの方が特徴的なエフェクトが豊富です。
ビルド・アニメーション機能を使って、
動画のオーニングタイトル作成にも応用できます。



Lesson 5-2 ビルド順番の入れ替え

keynote-study.com

【アニメーション解説】「ビルドの順番設定」とは？
複数のテキスト & 図形にビルド設定すると
再生させる順番を設定する必要があります

1 番目に表示したいテキスト

実践トレーニング

Apple Keynote

2 番目に「線」を表示したい

3 番目に表示したいテキスト

【ビルド順番の設定方法】

①画面右上【アニメーション】をクリック

実践トレーニング

Apple Keynote

②画面右下の【ビルドの順番】をクリック

Keynote-study.com

① 【ビルドの順番ウィンドウ】が表示されます
ドラッグで見やすい位置へ移動できます

実践トレーニング

Apple Keynote

Keynote-study.com

ビルドの順番

1	Apple Keynote	ムーブイン
2	実践トレーニング	レンズフレア
3	図形	レンズフレア

開始 遅れ

プレビュー ▶

ビルドの順番

Apple Keynote

→ 左から右

パウンス

テキスト表示方式

ビルドの順番

- | | | |
|---|---------------|--------|
| 1 | Apple Keynote | ムーブイン |
| 2 | 実践トレーニング | レンズフレア |
| 3 | 図形 | レンズフレア |

①テキストをクリックすると、
「ビルドの順番ウインドウ」に【青く反転表示】されます

開始

クリック時

遅れ

0秒

プレビュー ▶

【ビルドの順番ウインドウの解説】

①番号順にビルドが再生されます

②「テキストの最初の文字列」と
「設定したエフェクト名」が
表示されます

③上から番号にビルドが再生されます



【ビルドの順番変更】

1 Apple Keynote ムーブイン

2 実践トレーニング レンズフレア

3 図形 レンズフレア

開始 遅れ

クリック時

プレビュー ▶

① 順番を入れ替えは
ドラッグします

② 移動先には【青い線】が表示されます

③ マウスから指を離すと入れ替わります

1 Apple Keynote ムーブイン

2 図形 レンズフレア

3 実践トレーニング レンズフレア

プレビュー ▶

① ビルドの順番を入れ替えました

Apple Keynote



② ビルド以外の【空白場所をクリック】
して個別選択を外します

③ 【プレビュー】をクリックして、ビルドを再生して確認します

【ビルドの開始タイミングの設定】

【アニメーション解説】

「ビルドの開始タイミング」とは？
ビルドアニメーションを設定した後に、
どのタイミングで再生を開始するのか
細かく設定する機能です。



② 「クリック時」の上でクリック

① 【クリック時】とは
自分でクリックしてビルドをスタート

A
② 【ビルド1と同時に】とは
前のビルドと同時にスタート

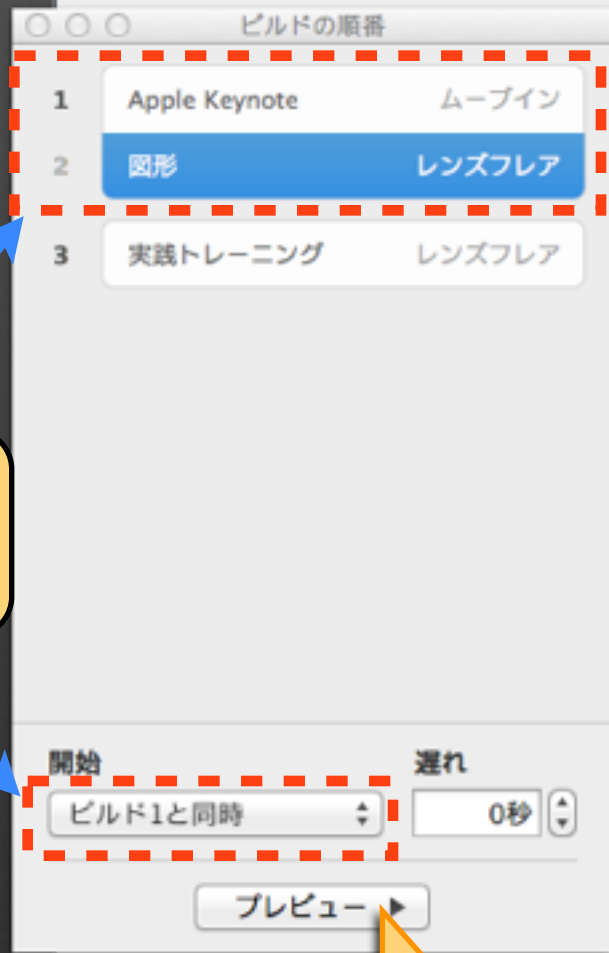
③ 【ビルド1の後】とは
前のビルドが終わると自動的にスタート

④今回は「ビルド1と同時に」を選択します



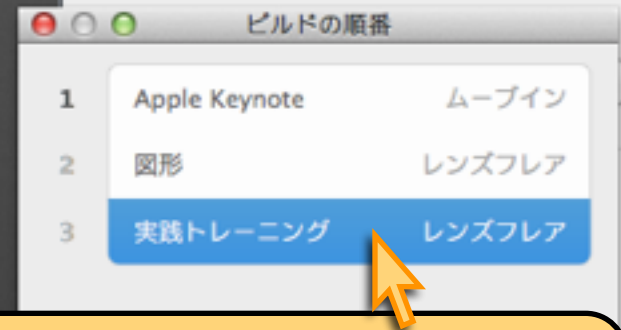
Apple Keynote

① 「ビルド1と同時」を選択すると
表示が切り替わります



② 【プレビュー】をクリックして確認します

Apple Keynote



①続いて、次の項目をクリックして設定します

②今回は【ビルド2の後】を選択します



③【遅れ】とは、前ビルド終了後の何秒後に再生するかの設定。
今回は「0.30秒」に設定しました。

① 「ビルドの順番」と「開始タイミング」の設定が完了しました

② ビルドが追加されたスライドには【●●●】が追加されます

スライド

1 ●●●

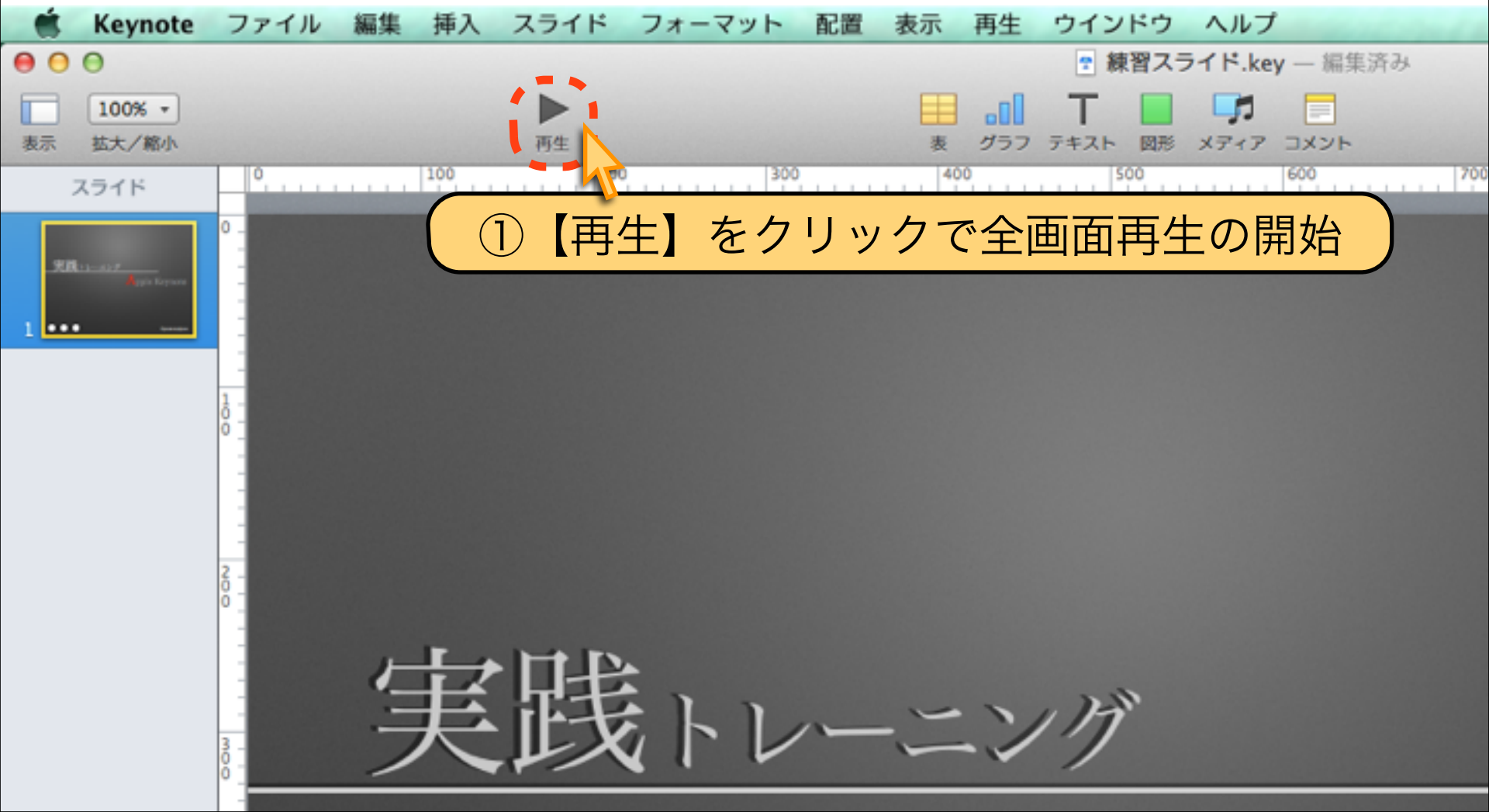
2 ●●●

3 ●●●

4 ●●●

実践トレーニング

【全画面表示で再生して確認する方法】



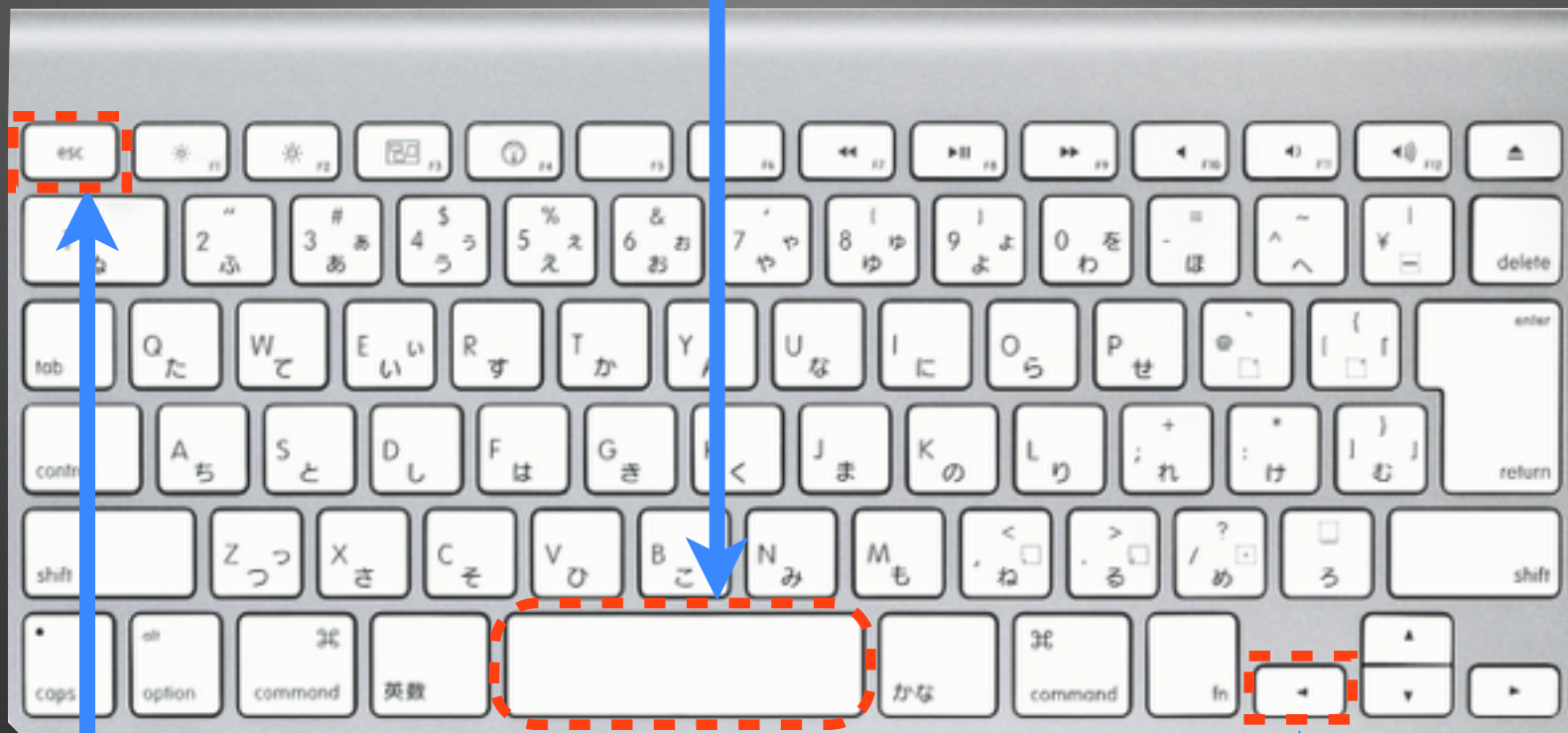
①全画面モードに切り替わりました

②【スペースキー】でテキストが登場して再生開始です

③【スペースキー】を押す度に、次のアニメーションへ

④再生を中止したい場合は、【ESCキー】です

① 「次のアニメーション再生開始」 = [スペースキー]



② 「再生中止」 = [ESCキー]

③ 「前に戻る」 = [◀キー]

【Keynoteの強みはアニメーション②】



Keynoteはプレゼンテーション作成ソフトですがアニメーション機能が充実しているので映像制作ソフトとして活用することができます。スライドを動画にしてYouTube配信も可能です。



Lesson 5-3

トランジション設定

keynote-study.com

今回は、切替え映像効果【トランジション】について説明します

【用語解説】「トランジション」とは？
次のスライドへ切り替える時に、スライド全体に
設定するアニメーション効果です

実践トレーニング



【トランジションの設定】

① 設定するスライドをクリック

【POINT】

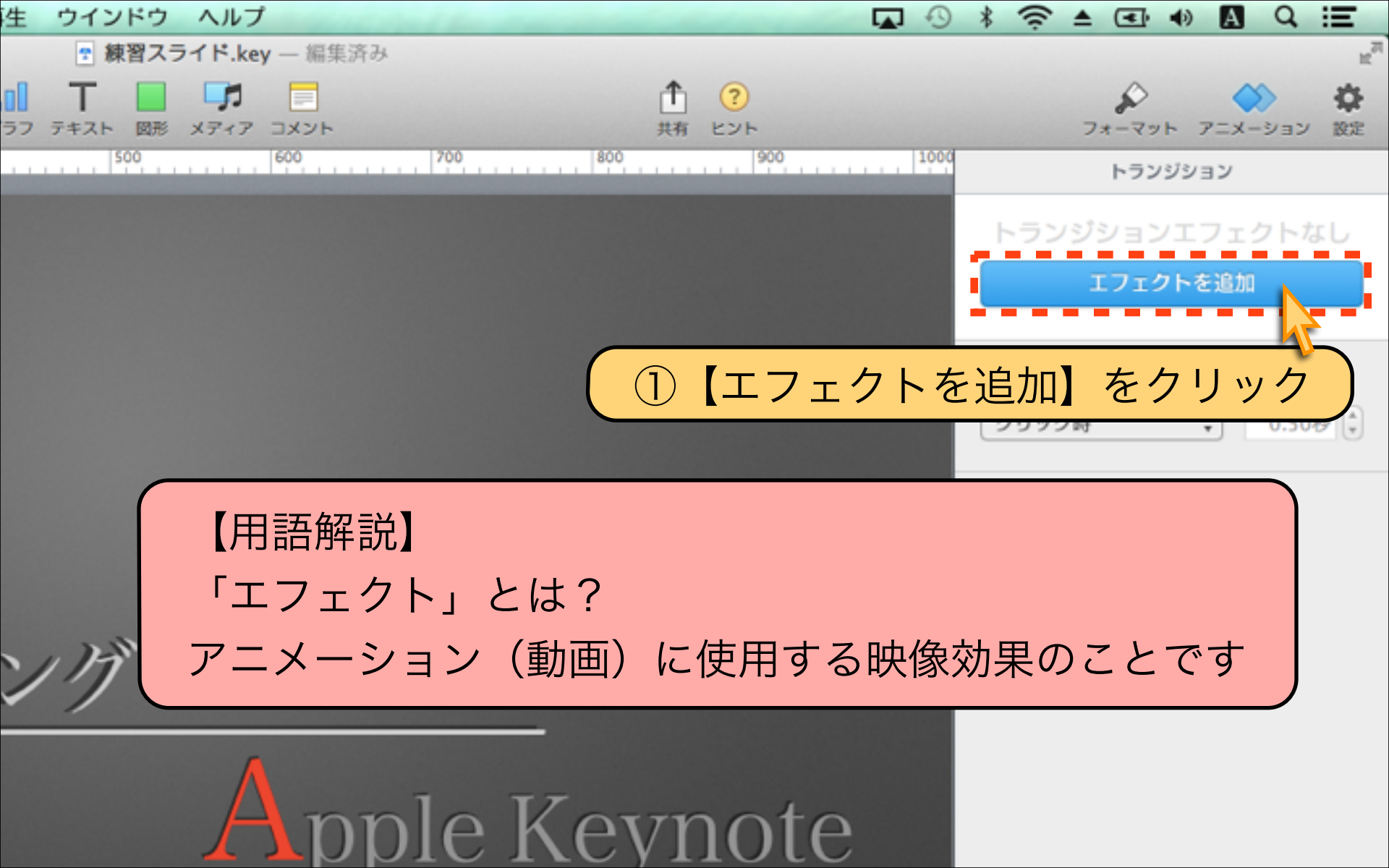
例えば、1番→2番の切り替えに
トランジションを設定するには
1番スライドをクリックして設定します

② 【アニメーション】 をクリック



トランジション
エフェクトを追加

トランジションを開始 遅れ
クリック 0.50秒



① 【エフェクトを追加】 をクリック

【用語解説】

「エフェクト」とは？

アニメーション（動画）に使用する映像効果のことです

Apple Keynote

①トランジションの【エフェクト一覧】が表示されました

実践トレーニング

Apple Keynote

②好きな【エフェクト】をクリックで選択します

トランジションエフェクトなし

エフェクトを追加

- なし
- 目的の新しいエフェクト
 - クローズライン
 - カラーでフェード
 - オブジェクトフラッシュ
 - オブジェクトキューブ
 - シマー
- マジックムーブ
- テキストのエフェクト
 - シマー
 - スウィング
 - スパークル
- オブジェクトのエフェクト
 - オブジェクトの拡大縮小
 - オブジェクトキューブ
 - オブジェクトフラッシュ
 - オブジェクトフリップ
 - オブジェクトポップ
 - スクロール
- 上向き
 - カラーでフェード
 - クローズライン
 - コンフェッチ
 - ディゾルブ
 - ドロップ
 - フラッシュ
 - ムーブイン
 - リビール
 - ワイブ

トランジションエフェクトなし

エフェクトを追加

テキストのエフェクト

シマー

スウィング

スパークル

オブジェクトのエフェクト

オブジェクトの拡大縮小

プレビュー

オブジェクトキューブ

オブジェクトフラッシュ

オブジェクトポップ

遠近感

出現と移動

カラーでフェード

クローズライン

コンフェッチ

①今回は【オブジェクトの拡大縮小】を選択します

Apple Keynote

① 【プレビュー】 をクリックで
何度でも再生できます

② 【エフェクトの詳細設定】 が可能です
選択したエフェクトによって
設定項目は違います

③ 今回は 「エフェクト継続時間」 を
[3.00秒] に設定します





表示 100% 拡大/縮小




表 グラフ テキスト 図形

スライド

1
2
3
4



① 「トランジション」の設定が完了しました

② トランジションが設定されたスライドには
【  】が追加されます

実践トレーニング

表示 100% 拡大/縮小



表 グラフ テキスト 図形

① 【再生】 をクリックで全画面再生の開始

スライド

1 実践トレーニング

2

3

4

0 100 200 300 400 500

実践トレーニング

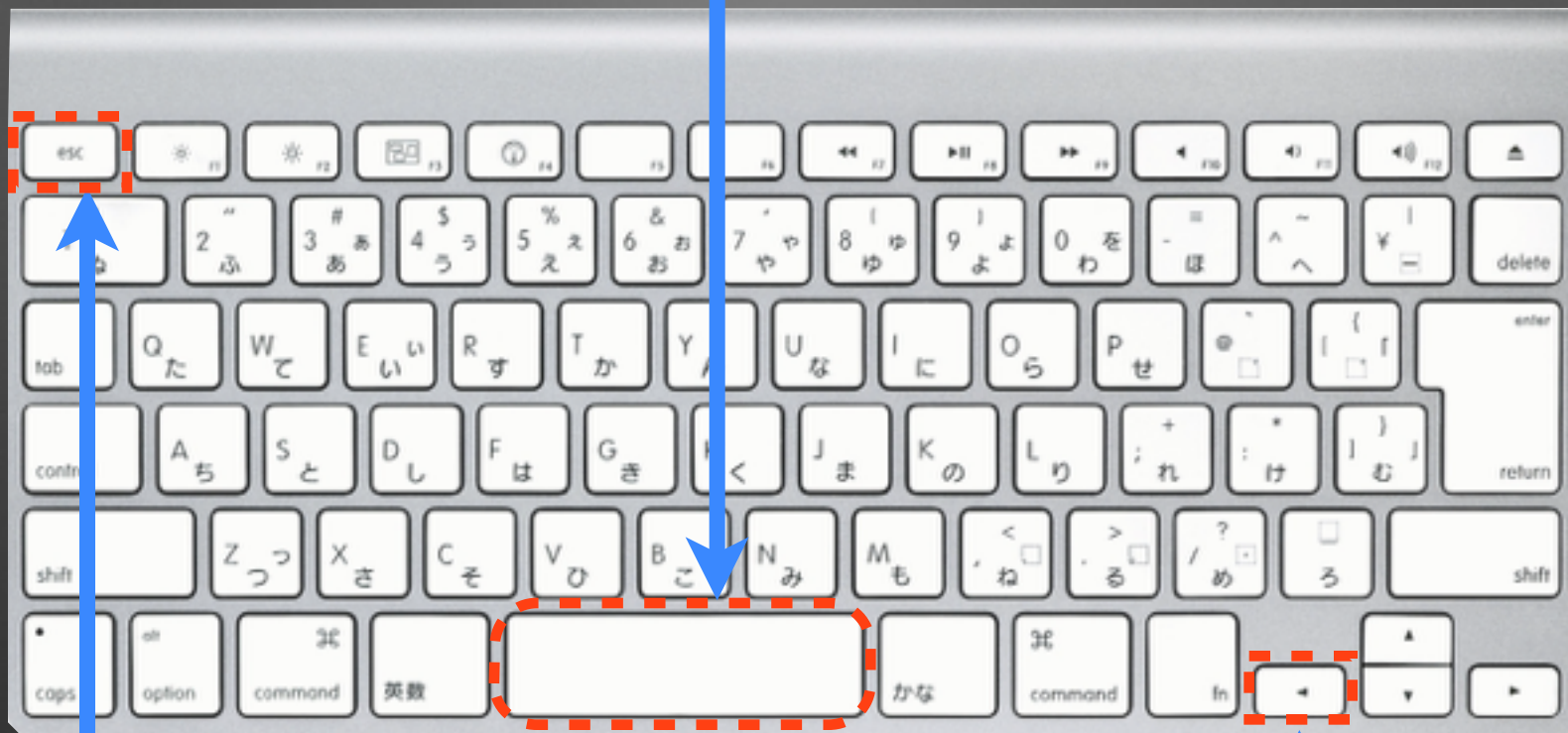
①全画面モードに切り替わりました

②【スペースキー】でテキストが登場して再生開始です

③【スペースキー】を押す度に、次のアニメーションへ

④再生を中止したい場合は【ESCキー】です

① 「次のアニメーション再生開始」 = [スペースキー]



② 「再生中止」 = [ESCキー]

③ 「前に戻る」 = [◀キー]

【Keynoteの強みはアニメーション③】



Keynoteで作成したスライドアニメーションを
【再生】－【スライドショーを記録】した後
【ファイル】－【書き出す】－【QuickTime】
動画ファイルとして書き出すことも可能です